

第13号 2012.1

# ぱずてる



**がんばってます！消防団**  
～地域の人々が、地域のために～

**がんばってます！学校応援団**  
～子どもたちのために  
地域ぐるみで学校を応援しよう！～

# がんばってます! 消防団



## ～地域の人々が、地域のために～

東日本大震災では津波警報の発令される中、消防団は水門・門扉閉鎖のため海へ向かい、または住民への避難の呼びかけや行方不明者の捜索にもあたりました。地域消防の中核を担うことが期待されている消防団員は、ふだんは一般市民として生活する非常勤特別職の地方公務員です。

消防団の活動について、消防職員の折原良和さんと消防団第1分団の箭内達也さん・消防団第3分団の榎本聖さんにお話を伺いました。

### ① 消防団員と消防職員の活動の違いは？

**消防署** 消防団員と消防職員はともに、市民の生命、身体、財産を守るため活躍している点においては基本的には大きな違いがありません。火災が発生した時に消防職員は、専門性の高い器具を利用して消防活動を行います。一方消防団員は、消防職員とともに放水等の消火活動を行います。



消防署 折原さん

### ② 消防団員は消火活動以外にどのような活動を行っているんですか？

**消防署** 地震、風水害などの災害時は地域住民の避難誘導・救助活動などを行い、平常時は市民への広報活動・防火指導・訓練などを行います。また、消防団は市内で活動するのが主ですが、近隣市町への応援活動も行います。



市役所での放水訓練(消防団)

### ③ 平常時の訓練とはどのような作業をされているのですか？

**第1分団** 月2回ぐらい放水訓練を行います。団員それぞれの仕事が終わった後に、市役所の駐車場で実施しています。

**第3分団** 私たちの分団はパルシー周辺にて放水訓練を行っています。

—その他、地域の実態に即した非常招集訓練や特別点検等の訓練があるそうです。

そこで、7月9日の非常招集訓練取材しました!

### 非常招集訓練 レポート

### ----- 企業と地域のつながり -----

- 非常招集訓練は、東日本大震災を教訓に地震を原因とした災害事故を想定して、黒浜地区の「東光電気株式会社埼玉事業所」で行われました。
- 東光電気株式会社は、電力流通機器・システム関連機器の開発・製造会社です。



負傷者をクレーンで救出

- 訓練は、液状化現象が発生して取り残された住民を同事業所従業員と消防団員、消防職員が連携



ホースとはしごを利用して避難誘導

して救出するものです。クレーン車で負傷者等を救出したり、ホースとはしごで避難通路を確保して安全な場所に避難者を誘導しました。

同事業所の埼玉総務グループマネージャーの石川さんは「消防訓練や講演会等を消防署や消防団に



負傷者を臨時救護所に搬送

協力をいただいています。事業所周辺で火災等が発生した際には当事業所も行政や地域の皆様とともに初期消火や救急活動等、地域社会に貢献していきたい」と話していました。

#### 高規格救急車

救急救命士が使う人工呼吸器などの資器材を積載した救急車です。



#### 普通ポンプ車

消防活動の主力となる車両です。各消防団に配置しています。

#### 水槽付ポンプ車

水を積んだポンプ車で消火栓や防火水槽を利用せずに放水ができます。

#### 化学車

消火剤を撒くことのできる消防車です。

消防車の種類の多さにびっくり! 暑い中の訓練でとても大変そうでした



見学していた石井浩太郎君

※非常招集訓練の参加者は143名、出動した消防車・救急車は18台でした。



### 特別点検(消防団)

#### ④非常招集訓練では若い団員さんもいらっしゃいましたが、消防団にはどのように入団されたのですか？

**第3分団** 実際には若い団員が入団する所は少ないと思います。私は職場の上司に消防団員の方がいて誘われました。また地元の消防団員の床屋さんに昔から消防のお話を聞いておりました、自分も地域のために皆様と一緒に活動しようと決めました。



第3分団 榎本さん

#### ⑤若い団員さんは少ないのですか？

**第3分団** ほとんどの分団は、若い団員が少ないですね。団員の高齢化が進んでいるかとは思いますが。

**消防署** 団員数を確保するため、在職20年以上の現役の方が151人中30人ほど活躍しています。

#### 消防団員数の推移 (4月1日現在)

	H3	H13	H23
団員数(人)	148	153	151
うち女性消防団員数	0	0	0
平均年齢(才)	30.9	33.7	38.2

**第1分団** これまでは、市内で個人経営している方や勤めている方が大半を占めていましたが、今は少なくなっています。



第1分団 箭内さん

#### ⑥市外に勤めている方も消防団員になれますか？

**第1分団** 市外に勤めている方でも、自分のできる範囲で消防団として活動されている方もいますよ！

#### ⑦消防活動が何も分からないという方も、消防団員になれますか？

**消防署** 大丈夫です。入団後に消防署での基礎教育を受講します。また優しい先輩団員の方々が練習の際に器具の扱い方等を教えてくれるので特に心配ありませんよ。

#### ⑧消防団の活動の魅力は？

**第3分団** 地域住民の方々、またいろんな職業や年齢の方とのつながりができた事がとても良かったと感じています。



出初式での車両パレード  
(消防署と消防団)

**消防団員  
募集中!**

## 女性消防士さんにインタビュー



消防署 吉澤さん

現在、蓮田市消防職員には80人中4人の女性消防士が勤務しています(平成23年9月1日現在)。非常招集訓練で広報活動を担当していた勤務3年目の吉澤斐弓さんに話を伺いました。

#### ★消防士になろうと思ったきっかけは？

まず身体を動かす事が好きだったこと。そして地域とのつながりがある仕事をしたかったこと。地域の方々が安心安全に暮らせる街にするために消防士として貢献したいと思い、決めました。



#### ★消防士になって女性だから難しいと感じる事ってありますか？

女性だから難しいと感じる事はありません。ただ体力には自信がりましたが、やはり男性にはかなわないと思いました。

#### ★女性だからこそ生かせる仕事はありますか？ また将来の目標は？

今までは男性に負けないようにと体力づくりをしていましたが、女性として何ができるか……。出初式での車両パレードの際「女性の人もいるんだ！」と市民の方の声が多数聞こえ、消防に対する興味を持ってもらうきっかけに自分になれればと感じました。今後は女性消防士をもっとアピールしていきたいと思います。

地元のボランティアとしてがんばる消防団についてご紹介しましたが、いかがでしたか？興味を持った方はぜひ入団を検討してみてください。地域のために一緒に活動しましょう。

- 消防団員の身分は、特別職の公務員です。
- 入団資格は、年齢18歳以上で蓮田市に居住、または勤務している人ならばどなたでも可

#### 消防団員に関するお問い合わせ・入団のお申し込みは

蓮田市消防本部消防課庶務係 (☎048-768-1020) の窓口か電話でお気軽に連絡してください。

### ◆学校応援団とは？

学校における教育活動、及び教育環境の整備を地域のボランティアの方が応援団となって協力・支援する組織です。

### ◆どんな方が応援団で活動しているのですか？

個人・団体どなたでも参加できます。自治会、老人会、保護者、民生児童委員、地域のボランティア団体など。

安心・安全



### 登下校の見守り・パトロール

登下校の時間帯に子どもたちの安心・安全を見守っていただいています。「応援団のベストや帽子を着けていると、子どもたちが元気にあいさつしてくれます。気軽にふれあえるようになりました。」とパトロールしている方が話されていました。

### 学習支援



### 菊づくり

専門的な技術と知識をもっている方に指導していただくことで、子どもたちの体験活動に幅がでます。子ども

たちも真剣に取り組み、毎年すばらしい菊の花を咲かせています。

### おはなし会

朝自習や昼休みの時間に、本の読み聞かせを行っていただき、子どもたちも読書に親しむ貴重な時間になっています。



### みのりの秋集会

応援団の方の協力で、子どもたちはおもちつきや昔遊びを体験しました。ついたおもちや収穫したサツマイモをみんなでおいしく味わいました。



環境整備

### 除草作業

造園業・農業・建設業などに携わる応援団の方に、資機材やトラックを提供していただき、校内の除草や樹木剪定を大がかりにさせていただきました。



### 投てき板

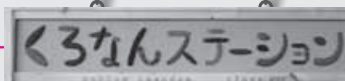
体育の先生のリクエストにより、子どもたちの投力を強化するための投てき板を設置しました。子どもたちも先生たちも大喜びです。



### 黒浜南小学校応援団の活動拠点場所

### 【自然に集まろう会】

月に1回、応援団の方々が「くろなんステーション」に自主的に集まり、様々な活動をしています。意見や情報を交換して、メンバーみんなでより良い活動を目指しています。



# がんばってます！ 学校応援団



学校

地域の力を生かして学校が求める支援を実現するために、連絡、調整、活動体制づくりなどを行います。



コーディネーター

私にも何かできることがありそう！

学校応援団



ボランティア



## 環境整備

- ★ 草取り
- ★ 樹木の剪定
- ★ 遊具の修繕
- ★ ペンキ塗り
- ★ 花壇の手入れ
- ★ イス・机の調整



## 学習支援

- ★ 本の読み聞かせ
- ★ 校外学習や生活科、家庭科の補助
- ★ 菊づくり指導
- ★ 農業体験
- ★ 昔遊び体験・指導
- ★ 放課後子ども教室
- ★ サマースクール

## 安心・安全

- ★ 登下校の見守り
- ★ 安全パトロール
- ★ 校外学習の付き添い



農業体験



- ①「できることを、できるときに、できるだけ」
- ②「地域の教育力で学校を支援」
- ③「学校、家庭、地域が一体となった教育の推進」をモットーに活動をしています。

黒浜南小学校応援団の皆さん



## 学校応援団の活動で良かったことは？

活動を通じて、児童・保護者・学校・地域の方との一体感が出てきたような気がします。また、個人的にも、職業や年齢の違いをこえて利害関係のない応援団の方々と知り合うことができ、大変有意義に感じております。

蓮田北小 岡野さん

子どもたちの喜ぶ顔が見られること。子どもたちと元気なあいさつが交わせることですね。

黒浜小 北村さん



黒浜小 応援団マーク

子どもたちの応募の中から作られました！

## 黒浜小学校応援団

地域・保護者・学校全体が、連携して子どもたちを育てるという意識が広がってきました。多くの皆様の特技や知識をより生かしていただきたいと思います。

## 蓮田北小学校応援団

キャッチフレーズ「だれでも、気軽に、そして楽しく」をモットーに、立場や年齢、男女を区別することなく、自分の得意なことやできることを生かして活動できればよいと思います。未永く継続できることを期待いたします。

## 黒浜南小学校応援団

地域の方との交流により、子どもたちはいつでもどこでも明るいあいさつと心のこもった対応ができるようになってきました。また、自分の持ち味を生かし、たくさんの人たちが様々な形で学校や子どもたちと関わることで、地域の方の一体感と教育力が高まってきていきます。

## 学校応援団募集中！

地域の皆さんと一緒に学校を盛り上げる「学校応援団」の取組をご紹介します。蓮田市内の小学校は全校学校応援団があります。多くの方に参加していただきたいです。お問い合わせは、お近くの小学校へお願いいたします。  
蓮田南小学校／蓮田北小学校／平野小学校／黒浜小学校／蓮田中央小学校／黒浜西小学校／黒浜南小学校／黒浜北小学校

学校応援団  
これからの  
期待は？

## 今、大切なこと!! 「つながり・きずな」

～手と手をつなぎ、心と心を通わせよう～



震災があつて、人々が地域を考えるようになったよね。  
その中で「人って強くて、優しくて、温かい」と感じたことが  
いっぱいあつたよね。  
人と人のつながり、きずなの大切さかな・・・。

### 「地域のつながり」を改めて考えてみよう。

震災前には、「無縁社会」ということが大きく取り上げられる中、震災後は、「地域コミュニティの大切さ」が取り上げられるようになったね。  
特に震災後は、「地域のつながり」や「個々のきずな」が復興の大きな力になっているように感じる。

### 私たちの住んでいる「はすだ」はどうなのかな？

震災の日、消防団は緊急事態ということでそれぞれの分団詰所に集まって、いつでも出動できるように待機していたんだ。

消防団って名前は知っているけれど、どんな活動をしているのかな？

地域ごとに分団があつて、いざという時には自宅や職場から現場に駆けつけ、救助活動を行うんだ。ふだんの訓練では、企業と消防署と消防団で非常招集訓練を行ったり、分団ごとに訓練を行ったりして備えているんだ。でも、なり手がなくて、高齢化も進んでいて・・・。今の課題かな。

最近では女性消防団が活躍している記事も目にするよね。埼玉県内の女性団員数も増えていて、人手不足の重要な担い手になりつつあるみたい。現場には出向かないけれど、応急手当の指導や火災予防の啓発活動などを担う「機能別団員・分団」というのがあつて、初めて知ったよ。蓮田にも女性による消防団ができるといいね。そのためにももっとピーアールすることも必要だね。

地域のつながりといえば、蓮田では3年前くらいから学校応援団があるよね。学校応援団って、学校を中心に地域の方や保護者の方たちが、みんなで学校を支援して、盛り上げているよね。たとえば、パトロール、学校整備、学習支援など様々な活動をしているね。

子どもたちと地域の方、保護者、学校とみんなで協力して、顔が見える付き合いができることがいいよね。それがいざという時には、大きな力になるんじゃないかな。

話してみると、いろいろな人たちがいろいろな形で、地域とつながりを持つようになっているね。その人、その団体がどこかでつながっていくことが大事で、そのつながりが地域を災害から未然に防いだりすることができるんだろうね。

消防団にせよ学校応援団にせよ、みんなの力で成り立っている。

「今、大切なこと!! つながり・きずな」このことが少しでも広がって、みんなの関心あるものになりたいね。巻き込んでいくことも大事だよ。

男女共生情報誌だけど、男とか女とか、年齢ではなくて、社会の一員として「自分になにができるか」を考えた時、「地域とのつながり」を考えることができるのかも。その一人ひとりの力が、今必要と感じるし、その力が集まって、地域の強いつながり・きずなが生まれると信じたいね。

### ご意見をお寄せください。

「ぱすてる」では、皆様からのご意見を募集しています。今後載せてもらいたい内容、今回の内容に対するご意見・ご感想などをお寄せください。また、編集員も募集しています。興味関心をお持ちの方、是非参加してください。ご一報ください。男女共同参画全般に関するご意見もお待ちしています。

問合せ・あて先

〒349-0193(住所不要)

蓮田市役所総務部庶務課人権担当

☎048-768-3111 内線296

表紙・イラスト／斉藤那緒(多摩美術大学) イラスト／岡元真弓  
編集員／石井文枝、岡元真弓、斉藤久恵、澤田喜子、箭内達也  
発行／蓮田市役所総務部庶務課 〒349-0193 蓮田市大字黒浜2799-1  
☎048-768-3111 内線296